

【生徒】自由記述欄

Q5 (9) その他、ご意見、ご感想などをお書きください。

- ・良かった点…時間通り、スムーズにできていてガイドの人も優しくだったので、台湾についてよく知ることでもできた。
- ・改善点…1日目の到着時間をもう少し早い時間にしてほしい。大学は、もっと内部を見学したいと思った。
- ・どこの研修地も、だいたい長すぎず、短すぎず、良い時間配分だった。
- ・今回、旅で一番苦しんだのが食べ物だったから、その国の料理でよく使われている代表的なものをあらかじめ私たちに伝え、苦手だったりした場合に、ホームステイ先や研修先で伝えてほしい。来年も台湾なら“八角”とか。ほんとに辛かった。空港への対処とか、時間配分とかは良かった。安心して満足できる旅ができた。
- ・全行程を思い返してみても、特に不満のない、楽しく実にもなる研修だった。ただ、現地の人と言語力の差を痛感することが多かったので、語学力を向上させたいと思った。
- ・出国の際の空港でもスムーズに行えていたし、誘導もしっかりできたので安心して出国できた。台湾の料理には、けっこう八角が入っていて、苦手な人もいるかもしれないので、そのことを事前に言ったほうがいい場合もあるかもしれない。
- ・英語のコミュニケーション能力がたりないことを実感しました。もっと積極的に日々の授業から話そうとする必要があると思いました。交流を通して、日本とは違った文化にふれ、知ることができ、とても有意義な時間になりました。
- ・自分の英語が外国の人に対しても伝わったことに喜びを感じました。また、英語で伝えきれないことでも、身振りなどを通してコミュニケーションがとれたのでよかったです。異文化への理解も深めてから研修に臨むことで、より積極的な関わりができたと思います。
- ・今回の海外研修では、自由に自分の意見を表現したり、言葉が伝わらないなりにジェスチャーなどで積極的にコミュニケーションを取ろうとしたりといった能力を得ることができた。意見としては、ホームステイを1泊とはいわず、もう少しさせてほしかったのと、現地の人と交流する時間をもっと長くとっても良かったのではないかと思った。
- ・研修の行程、内容、とてもよかった。さまざまなことを学ぶことができた。
- ・海外では日本と違うことがたくさんあり、言語や交通などはかなり意識していたが、実際に行ってみて、自分は食事（特に八角のにおい）が大変だった。しかし、朝食のバイキング方式など、自分で選択できることがほとんどだったため、それを避けることができたので良かった。
- ・全体的に十分な時間がとられていてよかった。事前にホームステイ中に伝える英語の表現とか自己紹介について学習時間があるとより安心できた。
- ・現地の学生や人々と関わる機会、異文化に触れる機会ともに多くあり、とても充実した研修旅行だったと感じる。附中でのプレゼンがグループごとだったため、多くの学生と密にコミュニケーションがとれたのでよかったと思う。
- ・ホームステイの経験は忘れられない宝物になりました。ぜひ、後輩にも経験してほしいです。附中での昼食が台湾の生徒とバラバラで悲しかったので、一緒に食べられるように調整していただけたらと思います。また、附中での流れが全く分からず、混乱する場面が多かったので、タイムテーブルなど提示すれば良くなると思います。大学生とのB&Sは、大学生が案内してくださるのが安心感があ

って、楽しめました。韓国も行き先の候補として良いと思います。

・初めての海外ということもあり、何も分からずに台湾へと行ったけれど、現地でしか学べないことがたくさんあって本当に貴重な時間をすごせました。1つ感じたことは、向こうでもたくさんバスや乗り物にのったので、もっと多く酔い止めの薬を持っていけばよかったなと感じました。

・台湾という身近な地域でも、日本と違うところがあることに驚いた。台湾の人々と英語でコミュニケーションをとることができて、とても楽しかった。九份や十份で、台湾で有名なものに触れることができたのは、とてもよい経験だった。

・帰国後、改めて日本文化の美しさに感動し、その文化を守り、世界にもっと発信したいという思いが強まった。また、初めて自分が外国人となったため、今後の生活で外国から来た方と相手の文化を尊重したうえで積極的にコミュニケーションをとっていきたいと思った。現地の人々との交流がもっとあるとよかったと思った。

・台湾での交流はめったにできない貴重な経験となり、多文化・異文化の理解にもつながった。また、視野の広がりも感じることができ、国外の人と交流したりする楽しさを知ることができた。要望があるとすれば故宮博物館をガイド付きで見に行きたかった。

・台湾研修楽しく終えることができて良かったです。師範の言語コースとの交流はおもしろかった。日本人の英語力と台湾人の英語力の差を感じた。

・附中での活動は英語力の向上にかなり役立ったと思う。同年代の生徒が英語をスラスラ話す姿は刺激や勉強のモチベーションにもつながった。逆に台湾大学の見学は、ずっと雨の中立ちながら聴かなければならなかったのと、音量の問題で聴きとるのが大変だった。

・内容が、過密で、しおりを書く時間がなかった。ホームステイ後 B&S プログラムは疲れがたまっていて、思うように楽しめなかった。台湾大学での研修はかなり勉強になった。

2日目にホームステイ、4日目に B&S プログラムとい 日程であれば、全日程で楽しむことができたと思う。

・海外へ行ったのは今回が初めてだったが、今まで、耳や目に入る情報としての異文化に、肌で直接触れる機会が最も自身を成長させるものだというを実感した。今後、この経験をより享受するために事前学習が重要だということも改めて理解した。

・実際に海外に行って、世界へとひだす勇気を得ることができた。日常生活における新たな視点や一種のモチベーションを得ることができた。海外への「行き方」が分かったので、今後のハードルが下がった。

・海外に行って現地の高校生、大学生と交流できたことは、とてもよい体験だった。もう少し自分からコミュニケーションをとるなどできればよかった。台湾についてのある程度の知識もあると…

・附中でどんな英語の授業をしているのか気になった。「みんな英語ペラペラ。台湾大学がちょっとよくわからなかった……附中生ともっと話していたかった。1日中時間とってたから難しいかもですが…

B&S を附中生とやるとかとうでしょう？

・台湾大学の授業の様子や内部をもう少し見てみたかった。

・大学生との自由研修は大学生がお勧めを紹介してくれて、楽しくいい思い出をつくることができた。

・B&S プログラムは、現地について知りたいと思ったことをすぐに聞くことができるので良いと思った。